



より良い職場に向け

「イクボス」共同宣言式

箕輪町は1日午後、業などの管理職が従業員と自身の仕事について、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)や多様な働き方を推進していく取り組み。町では5月に町人のうち、6社6人が長以下、課長級までの出席して署名。従業員21人が宣言した。

すべての男女(ひと)が自分らしく、イキイキと暮らせるまちの実現に取り組みます」と唱和。続いて企業ごとの宣言を1人ずつ読み上げた。

松島、プラスチック製造業「ハヤシテク」は、9人の全管理職が署名で宣言。代表で署名した管理部長の原光枝さんは「これまでも家庭や生活を大切にすることに理解があり、改めて会社の総意で宣言を決めた。若手も多いので、これを機に社員に浸透させ、より良い会社にしていくれば」と意気込んでいる。

共同宣言式に先駆け、ファザー・リンクジャパン(千代田区)の東浩司さんによるセミナー「イクボスから始まる働き方改革」を開いた。女性活躍推進会議の委員や宣言済み企業の関係者を含めた約40人が参加し、具体的な取り組みに向けて知識を深めた。



白鳥町長ら立ち合いの下、共同宣言した各企業の代表者



ご購入ありがとうございます

11月2日(金)

箕輪町の「イクボス・温かボス」

町内企業7社が共同宣言



宣言書に署名した町内企業の代表者たち

箕輪町は、誰もが働きやすく充実した生活を送る地域を目標として普及を進める「イクボス・温かボス宣言」を広く呼びかけ、町内企業による共同宣言式を町産業支援センターみので開いた。町の呼び掛けにに応じた7社が新たに署名し、それぞれに掲げた企業像の実現を誓った。

イクボスは、仕事と生活の両面に理解を示す上司を目指す全国的な取り組み。県内では県連合婦人会の発案で「温かボス」が加えられ、宣言の普及に努めている。

箕輪町では、白鳥政徳町長ら理事者3人と課長級以上の幹部職員18人が今年5月に宣言。町内にも広めようと呼びかけたところ、7社の管理職計15人から応募があった。

共同宣言式には、6社の代表6人が出席。宣言書に署名、押印し、「社員全員それぞれがワー

(原かおる)